

坂井市国民健康保険 第3期データヘルス計画（概要版）

（保険年金課）

第1章 計画の基本的事項

■計画の目的

本計画は、坂井市国民健康被保険者の健康寿命延伸のため、保険者（坂井市）の健康・医療情報を活用した保健事業の実施計画である。計画策定にあたり、健康・医療情報の分析結果から健康課題を抽出し、PDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を目指す。

■計画の位置づけ

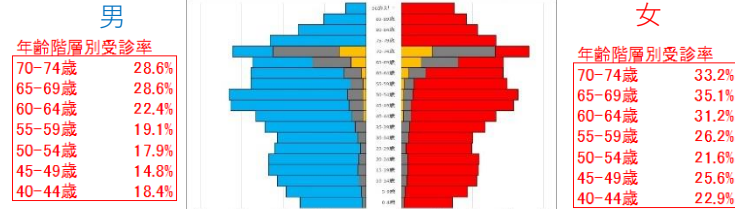
「データヘルス計画」は保健事業の全体計画であり、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核である特定健診、特定保健指導の具体的な実施方法を定める。両計画は、相互に連携し策定することが望ましいとされており、坂井市国民健康保険では、「第3期坂井市国民健康保険データヘルス計画・第4期坂井市特定健康診査等実施計画」を一体的に策定する。

健康増進計画を含めた第3次坂井市福祉保健総合計画とも、整合性を図る。

■計画期間 令和6年度から令和11年度

第2章 現状の整理

■人口・被保険者（R5年3月31日時点）



■総医療費

1人当たりの医療費は県や国と比べて高くなっている。入院医療費は県と比べ同様もしくは下回り、外来医療費は高くなっている。

第3章 第2期データヘルス計画等に係る考察

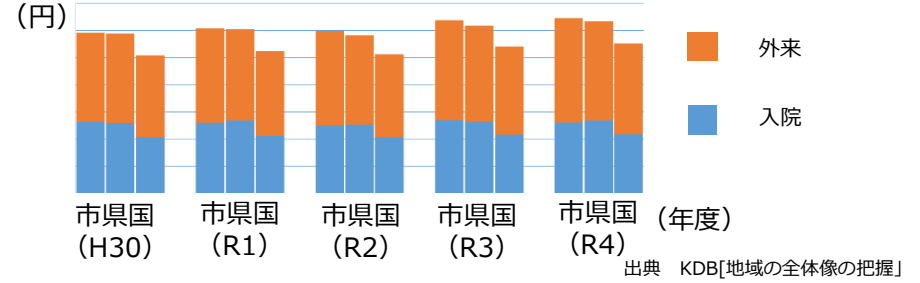
生活習慣の改善や健康づくりに取り組むための行動目標は達成できなかったが、食事や運動などの良い状態を心がけている方の割合は達成した。プラスマイナスチャレンジなど認知度にこだわらず、取り組みの内容について理解を深めることが必要である。健診受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響による集団健診の取り止めにより目標を達成出来ず、今後も積極的な勧奨が必要である。

第4章 健康医療情報等の分析

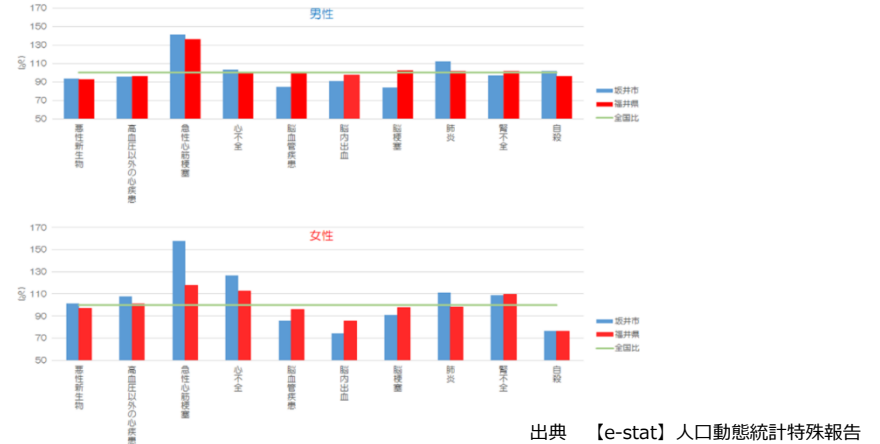
急性心筋梗塞や心不全などの心臓疾患での標準化死亡比が高い。

高血圧等の健診データ値が高く、生活改善意欲がないなど生活習慣病発症や心臓疾患につながるリスクのある方が一定数見られる。

【1人当たり医科医療費（入院・外来）（年次推移）】



【坂井市の標準化死亡比（平成25年～平成29年）】



【坂井市の生活習慣病リスク保有者の割合（年次推移）】

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
血圧リスクあり	坂井市	62.7	63.4	70.0	67.1	66.4
	県	62.2	62.4	66.5	65.2	65.4

出典：KDB「健康スコアリング（健診）」

第5章 健康医療情報の分析に基づく健康課題

① 項目	②健康課題	③優先する 健康課題
1	急性心筋梗塞や心不全などの心臓疾患での標準化死亡比が高い	1
2	健診データから、高血圧等の健診データ値が高く、生活改善意欲がないなど生活習慣病発症や心臓疾患につながるリスクがある	2
3	特定健診を継続して受診する被保険者の割合が少ない（継続受診率7.6%）	3
4	悪性新生物（がん）や腎不全、心臓疾患で高額な医療費が発生している	4
5	後発医薬品の使用割合が減少傾向にある	5
	重複受診や多剤処方者が一定数存在する	

第6章 データヘルス計画の目的、目標、目標を達成するための戦略 【データヘルス計画全体における目的】

心臓疾患発症の基となる生活習慣病の発症と重症化予防に取り組み、被保険者の健康寿命延伸を図る

達成するための目標を設定

被保険者の心臓疾患での死亡が減少する
 特定健診受診者の生活習慣病重症化リスクが低下する
 被保険者が生活習慣病発症予防のために生活習慣を改善する
 被保険者が特定健診を継続して受診する
 被保険者ががん検診を受診する
 被保険者が後発医薬品を使用、重複多剤状況が解消される



主な評価指標と目標値

心臓疾患の危険因子（収縮期血圧140以上 拡張期血圧90以上）有所見者の割合	33.0%→30.0%
健診受診者のうち、HbA1cが6.5以上の者の割合	8.2%→7.8%
健診受診者のうち1日30分以上の運動習慣がないと答える者の割合	63.2%→57.0%
特定健診受診2年連続受診者の割合	59.6%→80.0%
被保険者のがん検診受診率（県の実績値 5がん平均）	81.4%→82.0%
重複・多剤処方者の改善（取組後の受診行動改善率 改善者数/取組対象者数）	0.0%→10.0%

第7章 健康課題を解決するための個別の保健事業

拡充

- ・市民全体を対象とした健康増進計画と連携し、健康な時期から「運動機会」の拡充や「減塩」の取り組み強化を図る。
- ・特定保健指導や健診結果レポート、健康教室内容の充実により、健診の満足度アップを図り健診継続受診につなげる。
- ・重複・多剤処方対象者へ個々に応じた処方内容通知を作成送付し、かかりつけ医や薬剤師への相談を促し状況改善を図る。

新規

- ・特定健診の集団健診申し込み方法の簡素化として、過去の受診歴による申し込み不要枠を設ける。
- ・医療機関定期通院者の医療内容により健診項目を満たさない対象者を確認し、健診受診勧奨を促す。